

切っ子

第7号



学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成

文責 菊池 典男

◆ 楽しかったバス旅行・修学旅行！！

10月9日(金)に1～5年生のバス旅行がありました。数日前に台風11号が発生して心配していましたが、幸い大きな影響もなく天候に恵まれ、1・2年生は唐津市内へ、3・4・5年生は佐賀市内へ行きました。1・2年生は曳山展示場を見学したり、唐津駅から東唐津駅まで電車の乗降体験をしたりしました。3・4・5年生はバルーンミュージアムや佐賀城本丸歴史館を見学しました。

また、10月16日(金)には、6年生の長崎市への修学旅行がありました。今年度はコロナウイルス感染防止のため泊なしではありましたが、心配していた天気も崩れることなく充実した修学旅行になったようです。

2年 坂口 陽琉さん

きっぷうりばで、一おく円を入れたら、どのくらい行けるかをもちしりたいです。きっぷを入れたらスルスルっていくのをはじめてしりました。えきにエレベーターがあるのが、おどろきました。



4年 松本 珠李さん

今日はバス旅行でした。わたしのめあては、先生などの話を聞くと、勝手な行動をしないことでした。バルーンミュージアムやはく物館の人たちの話が聞けたのでよかったです。昼はにこちゃんなどみんなでお弁当を食べられたのでうれしかったです。



6年 徳田 悠真さん

原爆資料館では、人が無ざんに殺されている写真がありました。やっぱり、戦争はこわいと思いました。ぼくは、戦争のない平和な時代に生まれてきてよかったなと思います。松山公園では、濱井先生のお父さんのお姉さんのことを話されました。お姉さんは長崎で被爆したけれども無事に帰ってきたそうです。しかし、その後、放射能の影きょうで髪がぬげ落ちて、苦しんで亡くなられたそうです。ぼくは、とても悲しかったです。戦争は関係のない人までまきこんでなくなってしまうので、とてもこわくて悲しくてたまらないです。今でも、戦争があっている国や地域があるので、なくなってほしいと思いました。

◇ 命の尊さを教えてくれた「クロがいた夏」！！

今年度はコロナ禍の影響で、10月3日の土曜日授業の日に全校児童が「クロがいた夏」という平和映画を鑑賞しました。この映画は「はだしのゲン」で知られる中沢啓治さんが、被爆(広島)当時飼っていた子猫との体験をもとにつくられたそうです。

捨てられていた子猫を大切に育てていた姉弟と家族。その子猫の命を一瞬に奪い去った原子爆弾。目に涙を浮かべて映画を見ている子どももいました。子どもたちは可愛がっていた子猫の命が奪われた悲しみと戦争の理不尽さを強く感じさせられた映画だと思います。



5年 濱口 二胡さん

「クロがいた夏」を見て、とても悲しかったです。とくにクロが約束をまもって、死んでいたところです。私もねこをかっていて、ねこが死んだらなみだが止まらないと思います。「クロがいた夏」を見ていて、勝手になみだがぼろぼろ出てきてとても悲しかったです。

戦争はおそろしいことを忘れないようにしたいです。命の大切さが分かりました。二度と戦争が起こってほしくないです。人を思いやることを忘れないようにします。これからも平和が続いてほしいので、わたしにできることをしたいです。

めざせ聞き方名人！！話している人がうれしくなるような聞き方ができるようになろう！

今日の子どもたちに欠けているのは、3間（仲間、空間、時間）だそうです。ひと昔のように、普段の生活の中で人のかかわり方を学べる環境ではなく、学校で「かかわり体験」を意図的・継続的に設定し実践することが大切であるといわれています。

これまで、他者とかかわっていく上で必要な「あいさつ・返事の仕方」、「分かりやすい伝え方」の学習をしてきました。10月は「聞き方」の学習をしています。聞き方で話している人に安心感や心地よさを与えたり、逆に不安感や不快感を与えたりします。授業中の子どもたちを観察していると、聞くときに話し手を見たりうなずいたりできていないことが多いと感じます。そこで、話している人が「うれしくなるような聞き方」を全学年で学習しています。

学習したことを授業や行事、日頃の友達とのコミュニケーションに生かしてほしいと思います。

1年 伊丹 星寧さん

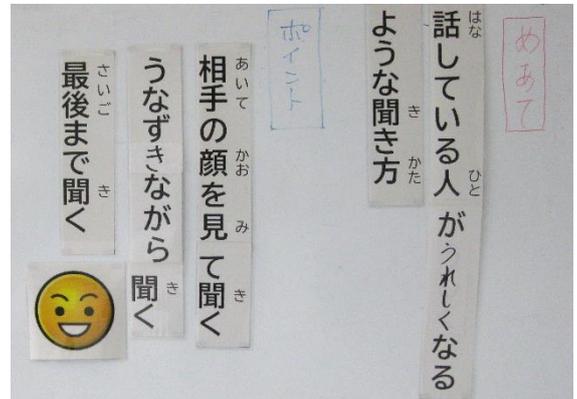
めをみて、うなずきながら、さいごまでできました。

2年 堀田 佳加さん

うなずきがあまりできなかつたから、こんどから「うなずき」をわすれないようにしたいです。

5年 平藤 羽紗さん

あんまりうなずいていなかったから、これからうなずいて聞こうと思いました。笑顔で聞いてもらったらうれしかったので、自分もそうしようと思いました。



◇ 読書の秋です！！早くも年間目標を突破しました！

とても過ごしやすく読書に最適な季節になりました。切っ子は読書好きが多く、年度当初に立てた年間貸出冊数である5,500冊を達成し、10月15日の段階で6,090冊になっています。個人目標も3年生3名、4年生5名、5年生8名、6年生8名と40%以上が目標を達成しています。そのこともあってか、10月8日に行われた青少年読書感想文審査で、入選に4名、佳作に3名選ばれました。

(入選)

1年 濱口実優さん、4年 松本珠李さん、6年 恵良光さん、柴田皓成さん

(佳作)

1年 川添悠愛さん、3年 大久保太雅さん、5年 堀田夕里さん



読書好きがさらに増えるように図書館の岩田先生がお薦めの本として、「つきのよるに」を紹介してくださいました。まだ、読んでない人は、ぜひ読んでみてください。